No.2010-23 変更
平成22年9月

検査内容変更のお知らせ

謹啓　時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび下記検査項目におきまして、検査内容を変更させていただきたくご案内いたします。
何卒ご了承賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬　白

記

変更実施日

平成22年12月3日（金）ご依頼分より

変更項目

検査項目	●プロラクチン	●ゾニサミド
	●テストステロン	●ハロペリドール
	●サイクリックAMP	●ブロムペリドール
	●サイクリックGMP	●ジゴキシン
	●エリスロポエチン	●リドカイン
	●HTLV-Ⅰ（ATLV）抗体〔CLEIA・PA〕	●キニジン
	●HIVスクリーニング	●フレカイニド
	●骨型アルカリフォスファターゼ（BAP）	●アプリンジン
	●ビタミンB_1	●アミオダロン
	●ビタミンB_2	●ゲンタマイシン
	●β-トロンボグロブリン（β-TG）	●D7S486　del（7）長腕欠失
	●血小板第4因子（PF-4）	●キメリズム解析移植前レシピエント
	●凝固因子活性検査・凝固抑制因子検査	●キメリズム解析移植前ドナー

SRL Communication for Health 株式会社 エスアールエル
本社：〒190-8567 東京都立川市曙町二丁目41番19号
データインフォメーション　TEL：042(646)5911
E-mail: di@srl-inc.co.jp
http://www.srl-group.co.jp/

R100 古紙配合率100%

変更一覧表

案内書掲載頁	項目コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現	備考
26	0004 0	プロラクチン	検査方法	ECLIA	CLIA	非特異反応の影響がより少ない試薬への変更。および、検査方法、基準値の変更。検体量の削減。
			基準値	男性 4.29～13.69 閉経前女性 4.91～29.32 閉経後女性 3.12～15.39 (ng/mL)	M 3.58～12.78 F 6.12～30.54 (ng/mL)	
			検体量	血清 0.4 mL	血清 0.5 mL	
36	0821 8	テストステロン	基準値	M 1.31～8.71 F 0.11～0.47 (ng/mL)	M 2.07～7.61 F 0.13～0.69 (ng/mL)	非特異反応の影響がより少ない試薬への変更。基準値の変更。
39	0032 1	サイクリックAMP	所要日数	3～9日	5～7日	同時報告可能な最短の所要日数への変更。
39	0033 9	サイクリックGMP	所要日数	3～9日	5～11日	
39	0279 1	エリスロポエチン	単位	mIU/mL	mU/mL	単位表記の変更。
62	2806 7	HTLV-Ⅰ(ATLV)抗体〔CLEIA〕	備考	検査結果が「陽性」であった場合、ウエスタンブロット法による確認検査をお勧めいたします。	なし	備考欄追加。 また、検査結果が「陽性」の場合、同様のコメントを付記して、ご報告させていただきます。
62	5176 5	HTLV-Ⅰ(ATLV)抗体〔PA〕				
63	6139 7	HIVスクリーニング HIV抗原・抗体、HIV-1RNA定量	報告内容	(HIV抗原・抗体が陽性または判定保留、かつHIV-1RNA定量が検出せずの場合、)HIV-2の感染の疑いもあるため、HIV-2抗体(WB法)を実施することをお勧めする旨、報告書に表記いたします。		国内でHIV-2感染症例があったため、ご報告内容を追加させていただきます。
92	2639 8	骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)	検査方法	CLEIA	EIA	測定試薬の変更、基準値、単位、検体量、その他検査方法参考文献の変更。所要日数の短縮。
			基準値	男性 3.7～20.9 閉経前女性 2.9～14.5 閉経後女性 3.8～22.6	男性13.0～33.9 女性 9.6～35.4 判定基準： 総合検査案内参照	
			単位	μg/L	U/L	
			検体量	血清 0.8 mL	血清 0.2 mL	
			所要日数	2～4日	3～5日	

●変更一覧表

案内書掲載頁	項目コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現	備考
103	0025 8	ビタミンB1	容器	専用容器g1（EDTA-2K 入り）	専用容器C（EDTA-2Na 入り）	破損防止のため、管の太い採血管への変更。
103	2720 1	ビタミンB2	容器	専用容器g1 → i（EDTA-2K 入り）（遮光）	専用容器C → i（EDTA-2Na 入り）（遮光）	
114	0753 5	β-トロンボグロブリン（β-TG）	容器形状	8ページをご参照ください。		現容器製造中止による容器形状変更。
114	0555 2	血小板第4因子（PF-4）	容器形状			
115	0766 2	凝固因子活性検査 第Ⅱ因子（F2）	所要日数	2～4日	2～8日	所要日数の短縮。
115	0767 0	凝固因子活性検査 第Ⅴ因子（F5）	所要日数	2～4日	2～8日	
115	0768 7	凝固因子活性検査 第Ⅶ因子（F7）	所要日数	2～4日	2～8日	
115	0769 4	凝固因子活性検査 第Ⅷ因子（F8）	所要日数	2～4日	2～5日	
115	0770 4	凝固因子活性検査 第Ⅸ因子（F9）	所要日数	2～4日	2～6日	
115	0771 1	凝固因子活性検査 第Ⅹ因子（F10）	所要日数	2～4日	2～8日	
115	0772 9	凝固因子活性検査 第ⅩⅠ因子（F11）	所要日数	2～4日	2～8日	
115	0773 6	凝固因子活性検査 第ⅩⅡ因子（F12）	所要日数	2～4日	2～8日	
115	0765 5	凝固抑制因子検査 第Ⅷ（8）因子	所要日数	2～4日	2～5日	
115	5154 0	凝固抑制因子検査 第Ⅸ（9）因子	所要日数	2～4日	2～6日	
120	5639 3	ゾニサミド	採血時刻	次回投与直前（Trough濃度）	なし	採血時刻を見直し、より詳細に、より新しい情報に変更させていただきます。
121	5354 7	ハロペリドール	採血時刻	随時（ただし、採血時刻を一定とする。）	随時	
121	2682 4	ブロムペリドール	採血時刻	随時（ただし、採血時刻を一定とする。）	なし	
121	0034 6	ジゴキシン	採血時刻	投与後6時間～次回投与直前（消失相）	経口：投与後8時間～次回投与直前（消失相） 静注：投与後4時間～次回投与直前（消失相）	
122	0457 3	リドカイン	採血時刻	静注：投与後2時間 点滴静注：6～12時間	随時	

変更一覧表

案内書掲載頁	項目コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現	備考
122	0302 6	キニジン	所要日数	2～8日	4～10日	所要日数の短縮。
122	2132 9	フレカイニド	採血時刻	次回投与直前 （Trough濃度）	随　時	採血時刻を見直し、より詳細に、より新しい情報に変更させていただきます。
123	5628 1	アプリンジン	採血時刻	経口： 次回投与直前（Trough濃度）、投与後2～4時間（Peak濃度） 静注：次回投与直前（Trough濃度）	な　し	
123	2738 4	アミオダロン	採血時刻	次回投与直前 （Trough濃度）	随　時	
124	0968 4	ゲンタマイシン	検査方法	EIA	FPIA	現試薬製造販売中止による測定試薬変更。その他、検査方法参考文献等の変更。
			基準値	Peak　4.0～10.0 Trough 2.0以下 （μg/mL）	Peak　4～10 Trough 2以下 （μg/mL）	
			検体量	血清　0.4 mL	血清　0.2 mL	
			採血時刻	筋注後15～60分 点滴静注終了後 （Peak濃度） 次回投与直前 （Trough濃度）	点滴静注後30分以内 筋注後1時間 （Peak濃度） 次回投与直前 （Trough濃度）	
130	6814 5	D7S486 del(7) 長腕欠失	項目名称・報告表記	D7S486　del(7) 長腕欠失/7染色体 （7モノソミー）	D7S486　del(7) 長腕欠失	より詳細な報告表記および名称への変更。
146	6149 2	キメリズム解析移植前レシピエント〔PCR〕	材　料	血　液　7.0 mL 骨髄液　1.0 mL （骨髄液の保存：冷蔵,容器：H）	血液　7.0 mL	材料（骨髄液）の追加。
146	6150 2	キメリズム解析移植前ドナー〔PCR〕	材　料	血　液　7.0 mL 骨髄液　1.0 mL 臍帯血　1.0 mL （骨髄液・臍帯血の保存：冷蔵、容　器：H）	血液　7.0 mL	材料（骨髄液・臍帯血）の追加。

下記検査項目につきまして、八王子ラボラトリー内におきまして、測定場所を移動させていただきます。
（新測定場所：エスアールエルMUQSラボラトリー　＆ヨ）
巻末の変更後の検査内容一覧からは割愛させていただきます。

掲載頁	項目コードNo.	検査項目
74	0335 4	抗ストレプトリジン-O抗体（ASO）
85	5200 7	C反応性蛋白（CRP）定量
91	0431 9	総酸性フォスファターゼ（AcP）
91	0432 6	前立腺酸性フォスファターゼ（PAP）
92	0435 8	ロイシンアミノペプチダーゼ（LAP）
94	0403 7	アンモニア
97	0390 1	グルコース
101	0953 2	総胆汁酸

●プロラクチン

本検査におきまして、マクロプロラクチンの影響がより少ない試薬に変更させていただきます。併せて、検査方法、基準値を変更させていただきます。新基準値は、文献値です。また検体量を削減いたします。

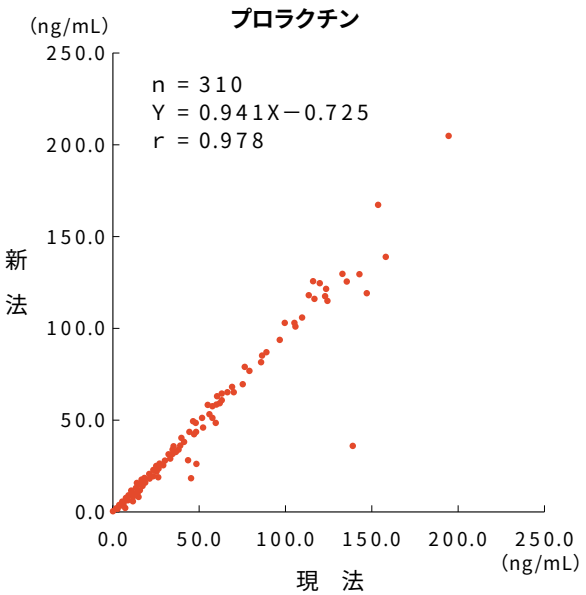
項目コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現
0004 0	プロラクチン	検査方法	ECLIA	CLIA
		基準値（単位）	男性 4.29～13.69 閉経前女性 4.91～29.32 閉経後女性 3.12～15.39 (ng/mL)	M 3.58～12.78 F 6.12～30.54 (ng/mL)
		検体量	血清 0.4 mL	血清 0.5 mL

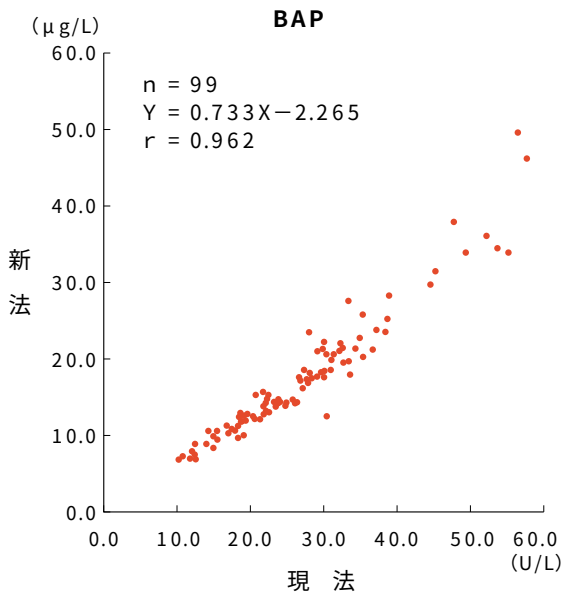
●骨型アルカリフォスファターゼ（BAP）

本検査におきまして、測定試薬を変更させていただきます。併せて、検査方法、基準値、検体量を変更いたします。基準値は文献値です。また、所要日数を短縮いたします。

項目コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現
2639 8	骨型アルカリフォスファターゼ（BAP）	検査方法	CLEIA	EIA
		基準値	男性 3.7～20.9 閉経前女性 2.9～14.5 閉経後女性 3.8～22.6	男性 13.0～33.9 女性 9.6～35.4 判定基準：総合検査案内参照
		単位	μg/L	U/L
		検体量	血清 0.8 mL	血清 0.2 mL
		所要日数	2～4日	3～5日

▶現法と新法の比較





●新検査方法参考文献

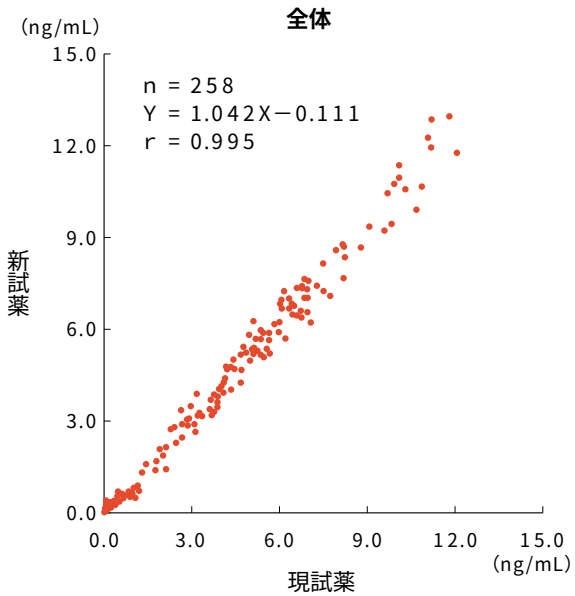
高加　国夫, 他: 医学と薬学56(4): 577～586, 2006.(プロラクチン)
倉澤　健太郎, 他: 医学と薬学55(2): 279～285, 2006.(骨型アルカリフォスファターゼ(BAP))

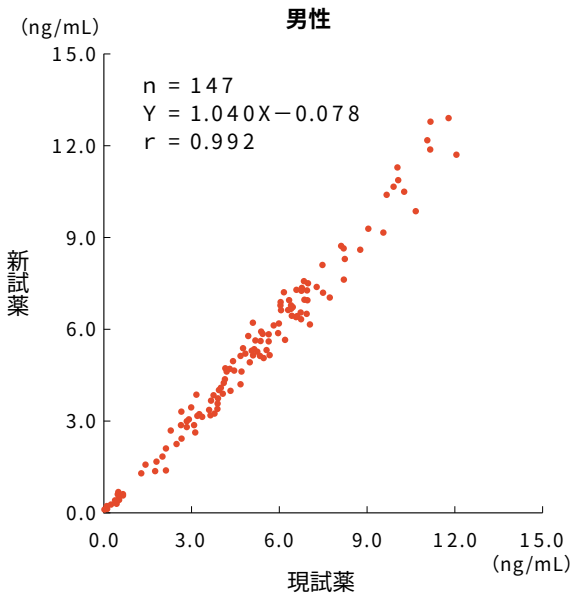
●テストステロン

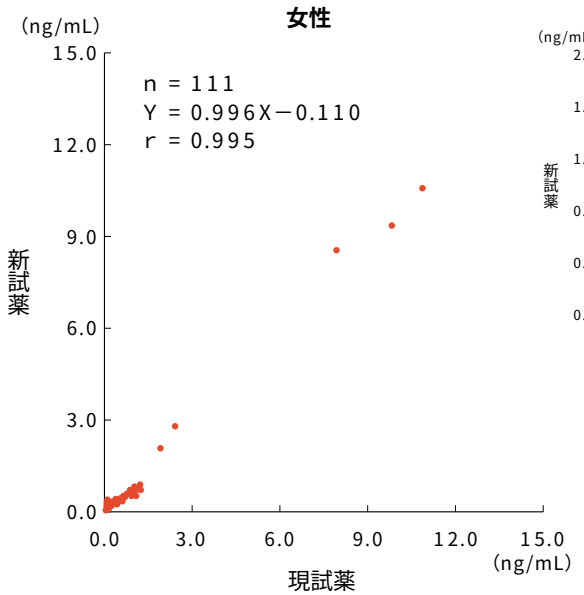
本検査におきまして、女性検体においてDHEAの影響による非特異反応が軽減された改良試薬に変更させていただきます。試薬変更に伴い、基準値を変更させていただきます。新基準値は、文献値です。

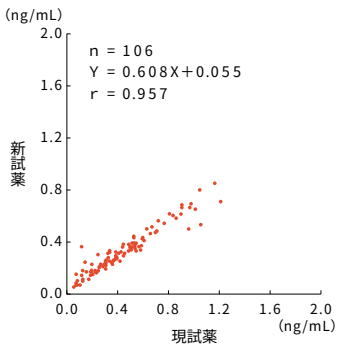
項目コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現
0821 8	テストステロン	基準値	M 1.31～8.71 F 0.11～0.47 (ng/mL)	M 2.07～7.61 F 0.13～0.69 (ng/mL)

▶現法と新法の比較









●新検査方法参考文献

木内　理世, 他: 医学と薬学64(1): 87～93, 2010.

●ビタミンB1・ビタミンB2

本検査におきまして、破損事例があったため、より割れにくい管の太い採血管に変更させていただきます。

項目コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現
0025 8	ビタミンB1	容器	専用容器ｇ1 （EDTA-2K 入り）	専用容器C （EDTA-2Na 入り）
2720 1	ビタミンB2	容器	専用容器ｇ1 → i （EDTA-2K 入り）（遮光）	専用容器C → i （EDTA-2Na 入り）（遮光）

新容器形状

g1 （真空採血量 2mL）

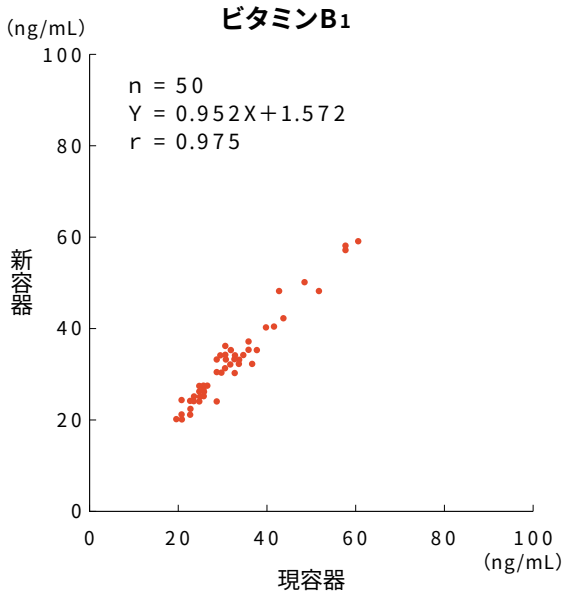
内容　EDTA-2K 3.6mg

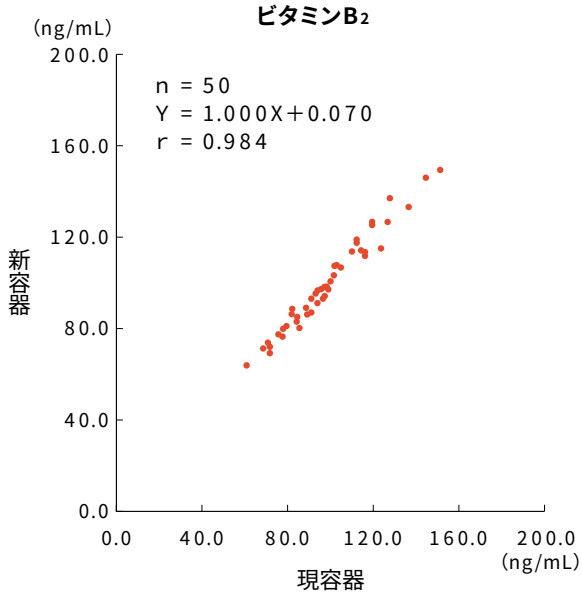
貯蔵方法　室温

有効期間　1年

このたびの変更に伴い、専用容器ｇ1の容器ラベルは写真の形状になります。

現容器と新容器の比較





β-トロンボグロブリン（β-TG）,血小板第4因子（PF-4）

現容器の製造販売中止に伴い、専用容器を変更させていただきます。

変更箇所	新	現
容　器 有効期間	1年	1年6ヵ月
検　体 取扱方法 （一　部）	（採血後、容器Qに注入し、転倒混和し冷却した後） 1時間以内に必ず冷却下で遠心分離してください。	（採血後、容器Qに注入し、転倒混和し冷却した後） 3時間以内に必ず冷却下で遠心分離してください。

新容器情報

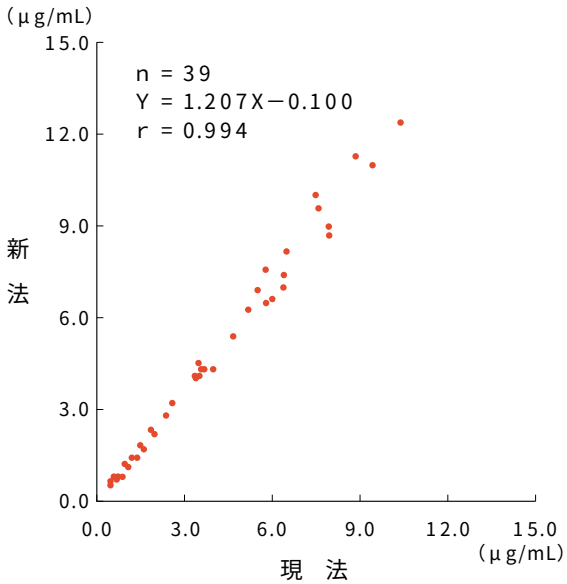
（真空採血禁止）
抗血小板剤入り
内　　容　テオフィリン、アデノシン、ジピリダモール、クエン酸ナトリウム、クエン酸
貯蔵方法　遮光、冷蔵
有効期間　1年

ゲンタマイシン

本検査におきまして、現試薬販売中止に伴い、試薬を変更させていただきます。
併せて、基準値、検体量、採血時刻を変更させていただきます。新基準値は、メーカー設定値です。

項　目 コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現
0968 4	ゲンタマイシン	検査方法	EIA	FPIA
		基準値	Peak　4.0～10.0 Trough 2.0以下（μg/mL）	Peak　4～10 Trough 2以下（μg/mL）
		検体量	血清　0.4 mL	血清　0.2 mL
		採血時刻	筋注後15～60分 点滴静注終了後（Peak濃度） 次回投与直前（Trough濃度）	点滴静注後30分以内 筋注後1時間（Peak濃度） 次回投与直前（Trough濃度）

現試薬と新試薬の比較



新検査方法参考文献

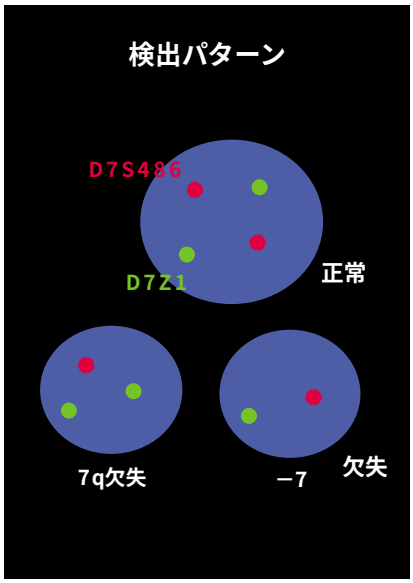
石橋　みどり，他: 医学と薬学42(6): 1061～1074,1999.

●D7S486 del(7)長腕欠失

本検査は、7q31領域の欠失を目的としてFISH法で検出しておりますが、7番染色体動原体近傍領域のプローブをコントロールプローブとして用いているため、シグナルパターンにより7モノソミーも判別可能です。つきましては、本項目にて7q31領域の欠失と7モノソミーの双方の検出が可能であることを、改めてご案内させていただくとともに、報告書における検出パターンのご説明を追加し、項目名称を変更させていただきます。

項目コードNo.	検査項目	変更箇所	新	現
6814 5	D7S486 del(7)長腕欠失	項目名称・報告表記	D7S486 del(7)長腕欠失/7染色体(7モノソミー)	D7S486 del(7)長腕欠失

参考資料



報告書に左図の検出パターンを表示いたします。

正常細胞　2種類(赤・緑)のシグナルが2個ずつ(4個のシグナル)検出されます。

7q31領域の欠失
D7Z1(緑)のシグナルが2個と、
D7S486(赤)が1個検出されます。

7モノソミー
2種類のシグナルがひとつずつ(赤1個・緑1個)検出されます。

また、7モノソミーの偽陽性率を追加した下記の検査情報を報告書に記載いたします。

プローブ:D7S486:7q31/D7Z1:7cen
分析対象:1個と認識できる間期核　100細胞以上
参照範囲:健常人の偽陽性率
7q31領域の欠失:3.0%以下(95%信頼範囲)
7モノソミー　:1.0%以下(95%信頼範囲)

なお、受託数僅少により12月1日ご依頼分をもって受託中止とさせていただきます7染色体(項目コードNo.2742 6)は、7モノソミーの検出を目的に動原体近傍領域のプローブ(1種類)を用いております。
本検査は、2種類のプローブを使用しているため、健常人の偽陽性率が、より低くなっております。

変更後の検査内容一覧

☆検査要項が変更になった項目についてまとめております。

項目コード(統一コード)	検査項目	検体量(mL)	容器	保存(安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
0004 0 (4A020)	プロラクチン	血清 0.4	⬇ X	凍結 (21日)	2～4	100 ※4	ECLIA	男性 4.29～13.69 閉経前女性 4.91～29.32 閉経後女性 3.12～15.39 (ng/mL)	
0821 8 (4F065)	テストステロン	血清 0.4	⬇ X	凍結 (28日)	2～4	140 ※4	ECLIA	M 1.31～8.71 F 0.11～0.47 (ng/mL)	性別を明記してください。
0032 1 (4Z255)	サイクリックAMP	冷却遠心 血漿 0.3	C ⬇ X	絶凍 (1ヵ月)	3～9	180 ※4	RIA DCC法	11～21 (pmol/mL)	(蓄尿) トルエン1～2mLを入れて冷暗所にて24時間蓄尿し、よく混和し必要量をご提出ください。
		蓄尿 2	Y	絶凍		180 ※4		1.8～6.3 (μmol/day)	
0033 9 (4Z260)	サイクリックGMP	冷却遠心 血漿 0.3	C ⬇ X	絶凍	3～9		RIA DCC法	1.8～4.8 (pmol/mL)	
0279 1 (4Z275)	エリスロポエチン	血漿 1.0	C ⬇ X	凍結 (21日)	3～5	220 ※4	RIA2抗体法	8～36 (mIU/mL)	
		血清 1.0	⬇ X	凍結					
2806 7 (5F450)	HTLV-Ⅰ(ATLV)抗体	血清 0.3	⬇ X	凍結 (21日)	2～4	190 ※5	CLEIA	陰性	検査結果が「陽性」であった場合、ウエスタンブロット法による確認検査をお勧めいたします。
5176 5 (5F450)		血清 0.2		凍結	2～4	85 ※5	PA	16倍未満 (倍)	検査結果が「陽性」であった場合、ウエスタンブロット法による確認検査をお勧めいたします。 下記参照(＊PA)
2639 8 (3B072)	骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)	血清 0.8	⬇ X	凍結 (21日)	2～4	170 ※4	CLEIA	男性 3.7～20.9 閉経前女性 2.9～14.5 閉経後女性 3.8～22.6 (μg/L)	
0025 8 (3G025)	ビタミンB1	血液 1.0 (EDTA-2K加)	g1	凍結 (6ヵ月)	3～5	270 ※3	HPLC	20～50 (ng/mL)	&D
2720 1 (3G030)	ビタミンB2	血液 0.5 (EDTA-2K加)	g1 ⬇ i	凍結 (1ヵ月) 遮光	3～5	280 ※3	HPLC	66.1～111.4 (ng/mL)	(検体のご提出について)血液は必ず遮光ポリスピッツ(i)に移し替え、凍結してご提出ください。&D

＊PA:出発希釈16倍(髄液の測定も可能です。　検体量　0.4mL(凍結)　基準値　設定なし　出発希釈　2倍)

※3:生化学的検査(Ⅰ)判断料
※4:生化学的検査(Ⅱ)判断料
※5:免疫学的検査判断料

変更後の検査内容一覧

☆検査要項が変更になった項目についてまとめております。

項目コード(統一コード)	検査項目	検体量(mL)	容器	保存(安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
0766 2 (2B350)	凝固因子活性検査 第Ⅱ因子(F2)	速やかに遠心 血漿 各0.3	K ⇓ X	絶凍(21日)	2～4	240 ※2	凝固時間法	75～135 (%)	採血後、速やかに血漿分離してください。 &ヤ
0767 0 (2B370)	凝固因子活性検査 第Ⅴ因子(F5)					240 ※2		70～135 (%)	
0768 7 (2B380)	凝固因子活性検査 第Ⅶ因子(F7)					240 ※2		75～140 (%)	
0769 4 (2B390)	凝固因子活性検査 第Ⅷ因子(F8)					240 ※2		60～150 (%)	
0770 4 (2B400)	凝固因子活性検査 第Ⅸ因子(F9)					240 ※2		70～130 (%)	
0771 1 (2B410)	凝固因子活性検査 第Ⅹ因子(F10)					240 ※2		70～130 (%)	
0772 9 (2B420)	凝固因子活性検査 第ⅩⅠ因子(F11)					240 ※2		75～145 (%)	
0773 6 (2B430)	凝固因子活性検査 第ⅩⅡ因子(F12)					240 ※2		50～150 (%)	
0765 5 (2B460)	凝固抑制因子検査 第Ⅷ(8)因子	速やかに遠心 血漿 各1.0	L ⇓ X	絶凍		160 ※2	ベセスダ法	検出せず (ベセスダU/mL)	
5154 0 (2B470)	凝固抑制因子検査 第Ⅸ(9)因子			絶凍(21日)		160 ※2			
6814 5 (8B374)	曜日指定 D7S486 del(7) 長腕欠失/7染色体 (7モノソミー)	骨髄液 1.0	H	冷蔵	7～10	2600 ＋ 400 ※2	FISH		受託可能日は月～金曜日です。 &ユ
		血液 5.0 (ヘパリン加)	G						
6149 2 (8C981)	曜日指定 キメリズム解析移植前レシピエント〔PCR〕	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	A	冷蔵	5～7		PCR		受託可能日は月～金曜日です。 受給者の場合、化学療法などにより細胞数が減少し、DNAが回収できない場合がありますので細胞数2×10^5個を最低限としてご提出ください。 必ず受給者、供給者のペアでご提出ください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。 &ユ
		骨髄液 1.0	H						
6150 2 (8C981)	曜日指定 キメリズム解析移植前ドナー〔PCR〕	血液 7.0 (EDTA-2Na加)	A	冷蔵	5～7		PCR		
		骨髄液 1.0	H						
		臍帯血 1.0	H						

※2：血液学的検査判断料

変更後の検査内容一覧

☆検査要項が変更になった項目についてまとめております。

項目コード（統一コード）	検査項目	検体量（mL）	容器	保存（安定性）	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値（単位）	採血時刻	備考
5639 3（3L210）	ゾニサミド	血清 0.2	⬇ X	凍結（21日）	3～5	特	HPLC	10～30（μg/mL）	次回投与直前（Trough濃度）	エクセグラン ＆D
		血漿 0.2	G ⬇ X	凍結						
5354 7（3L300）	ハロペリドール	血清 0.2	⬇ X	凍結（21日）	2～4	特	金コロイド凝集法	3～17（ng/mL）	随時（ただし、採血時刻を一定とする。）	ハロペリドール・ブロムペリドールは、ほぼ同等の交差反応を示すため、双方を併用されている患者検体の測定値は、各々の正確な血中濃度値とは合致しませんので、ご注意ください。セレネース、ハロマンス、リントン、ネオペリドール、ハロステン ＆D
2682 4（3L302）	ブロムペリドール	血清 0.2	⬇ X	凍結（21日）	2～4	特	金コロイド凝集法	至適血中濃度15以下（ng/mL）	随時（ただし、採血時刻を一定とする。）	ハロペリドール・ブロムペリドールは、ほぼ同等の交差反応を示すため、双方を併用されている患者検体の測定値は、各々の正確な血中濃度値とは合致しませんので、ご注意ください。インプロメン、ルナプロン ＆D
0034 6（3L765）	緊急 ジゴキシン	血清 0.3	⬇ X	凍結（21日）	2～4	特	EIA	消失相濃度 0.8～2.0（ng/mL）	投与後6時間～次回投与直前（消失相）	ジゴシン、ジゴキシン ＆D
0457 3（3L875）	緊急 リドカイン	血清 0.3	⬇ X	凍結（21日）	2～4	特	EIA	1.2～5.0（μg/mL）	静注：投与後2時間 点滴静注：6～12時間	キシロカイン ＆D
0302 6（3L900）	キニジン	血清 0.4	⬇ X	凍結（21日）	2～8	特	KIMS	2.0～6.0（μg/mL）	次回投与直前（Trough濃度）	硫酸キニジン ＆D
		血漿 0.4	G ⬇ X	凍結						
2132 9（3L905）	フレカイニド	血清 0.3	⬇ X	凍結（21日）	3～6	特	HPLC	200～1000（ng/mL）	次回投与直前（Trough濃度）	タンボコール ＆D
		血漿 0.3	G ⬇ X	凍結						
5628 1（3L855）	アプリンジン	血清 0.5	⬇ X	凍結（7日）	3～5	特	HPLC	0.25～1.25（μg/mL）	経口：次回投与直前（Trough濃度）投与後2～4時間（Peak濃度）静注：次回投与直前（Trough濃度）	アスペノン ＆D
		血漿 0.5	G ⬇ X	凍結						
2738 4（3L800）	アミオダロン	血漿 0.6	G ⬇ X	凍結（20日）	3～5	特	HPLC	（ng/mL）	次回投与直前（Trough濃度）	アミオダロン 有効血中濃度：500～1000ng/mL（200mg/日投与、定常状態、トラフ値）Desethyl Amiodarone/Amiodarone＝0.8（定常状態）。アンカロン ＆D
0968 4（3M606）	緊急 ゲンタマイシン	血清 0.4	⬇ X	〈絶凍〉	2～4	特	EIA	Peak 4.0～10.0 Trough 2.0以下（μg/mL）	筋注後15～60分 点滴静注終了後（Peak濃度）次回投与直前（Trough濃度）	ゲンタシン、エルタシン、ルイネシン ＆D

特：特定薬剤治療管理料